

---

# 平成27年度第3四半期 決算説明会資料

---

平成28年2月2日

# 日新製鋼株式会社

# 平成27年度 第3四半期決算の概要



# 平成27年度第3四半期決算

## 概況

- ✓ 国内では自動車など一部需要分野の回復に遅れが見られるなか、鋼材在庫の調整は長期化。海外でも中国の需給ギャップ拡大がアジア鉄鋼市況の下落や輸出環境の悪化を引き起こすなど、厳しい経営環境が続く
- ✓ このような状況のもと、実需見合いの生産・販売を継続することで、鋼材在庫の適正化を推進。粗鋼生産量は286万ト、販売数量は262万ト、連結売上高は4,099億円となった
- ✓ 一方、経常利益については45億円となったものの、鉄鉱石など原料市況下落による在庫評価損の影響が大きく、これを除く実力ベースでは145億円と前期と同水準を維持
- ✓ ステンレスはN i 市況が長期低迷しているなか、在庫評価損の発生に加え、海外を中心にグループ会社業績も減速気味であるなど、経常利益は▲80億円、在庫評価損を除く実力ベースでも▲20億円となった

# 平成27年度第3四半期決算

(億円)

	No	H27年度4-12月					H26年度	差異		
		上期			下期	(実績)	4-12月 (実績)	① e-f	② d-b	
		4-6月 (実績)	7-9月 (実績)	(実績)	10-12月 (実績)					
	a	b	c	d	e	f				
売上高	1	1,372	1,395	2,767	1,332	4,099	4,597	▲ 498	▲ 63	
営業利益	2	10	53	63	6	69	154	▲ 85	▲ 47	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	38	56	94	31	125	125	0	▲ 25
	ステンレス	4	▲ 20	▲ 20	▲ 40	▲ 40	▲ 80	45	▲ 125	▲ 20
	計	5	18	36	54	▲ 9	45	170	▲ 125	▲ 45
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	12	8	20	▲ 20	0	129	▲ 129	▲ 28	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 10	▲ 10	▲ 20	▲ 20	▲ 40	▲ 10	▲ 30	▲ 10
	ステンレス	8	▲ 15	▲ 15	▲ 30	▲ 30	▲ 60	35	▲ 95	▲ 15
	計	9	▲ 25	▲ 25	▲ 50	▲ 50	▲ 100	25	▲ 125	▲ 25

<実カベース>

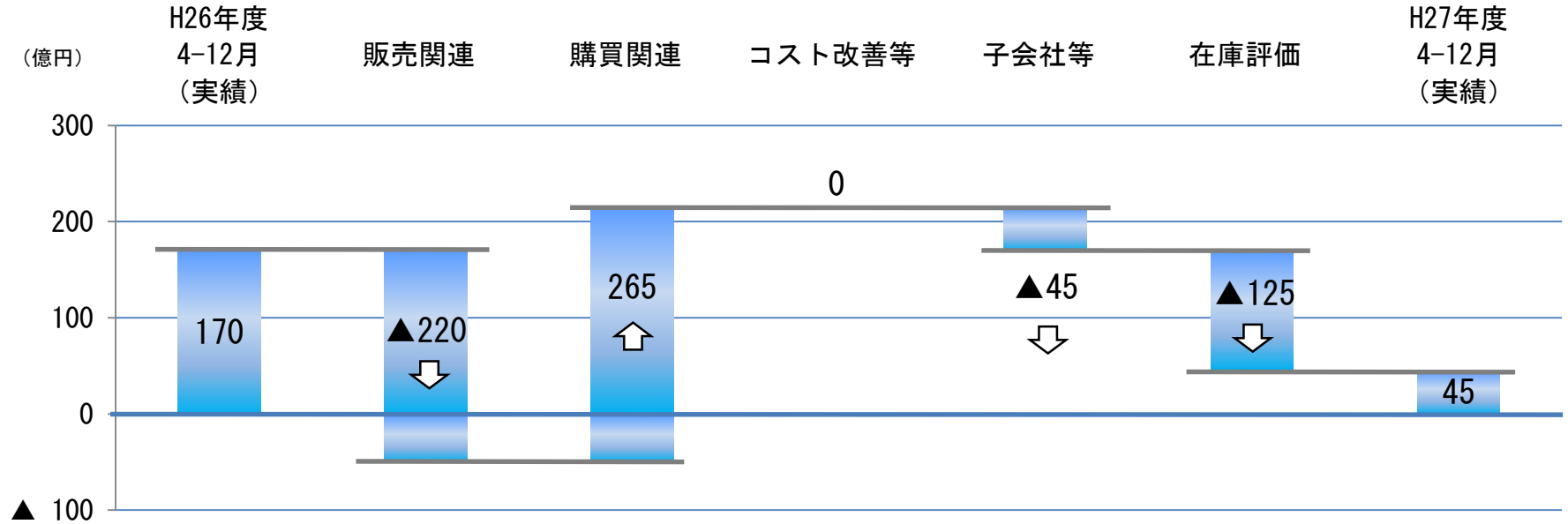
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	48	66	114	51	165	135	30	▲ 15
	ステンレス	11	▲ 5	▲ 5	▲ 10	▲ 10	▲ 20	10	▲ 30	▲ 5
	計	12	43	61	104	41	145	145	0	▲ 20

# 平成27年度第3四半期諸元

		No	H27年度4-12月					H26年度 4-12月 (実績) f	差異	
			上期			下期			① e-f	② d-b
			4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b	(実績) c	10-12月 (実績) d	(実績) e			
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	1	79	79	158	78	236	248	▲ 12	▲ 1
	ステンレス	2	15	19	34	16	50	55	▲ 5	▲ 3
	計	3	94	98	192	94	286	303	▲ 17	▲ 4
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	4	74	76	150	75	225	238	▲ 13	▲ 1
	ステンレス	5	12	13	25	12	37	45	▲ 8	▲ 1
	計	6	86	89	175	87	262	283	▲ 21	▲ 2
鋼材平均単価 (千円/ト)		7	124	120	122	114	119	127	▲ 8	▲ 6
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	16	16	14	16	17	▲ 1	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)		9	121	122	122	121	122	106	16	▲ 1

# 経常利益差異内訳

## H26年度4-12月(実績):H27年度4-12月(実績)

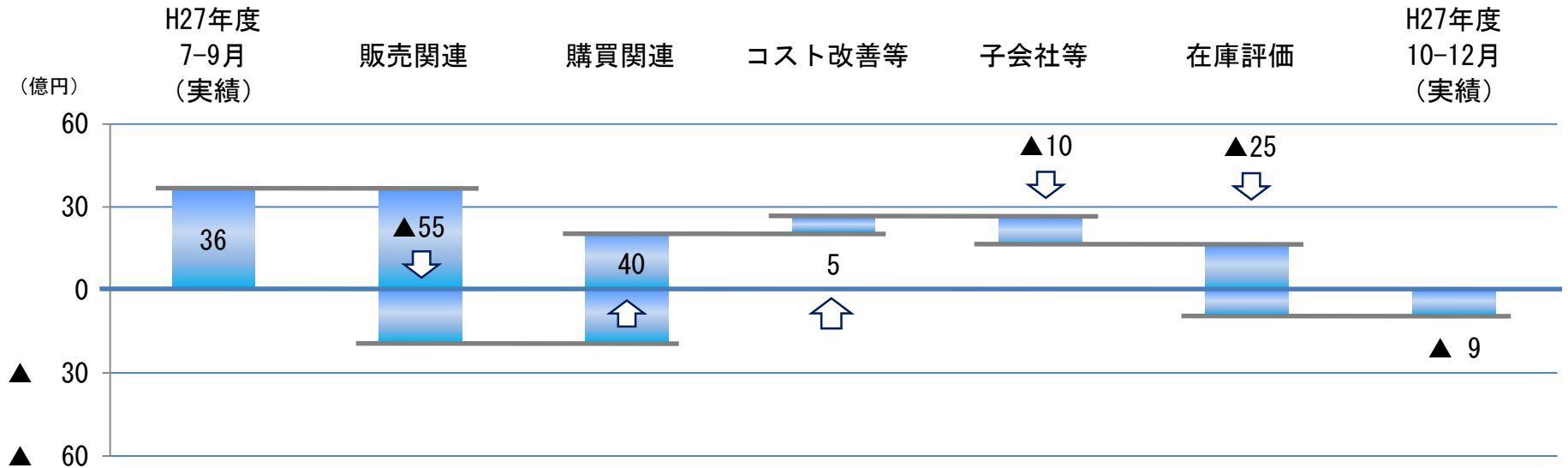


H26年度4-12月(実績)		170	変動要因	45
変動要因	販売関連	▲220	価格差▲200、数量構成差▲70、輸出為替差50	▲65
	購買関連	265	鉄鉱石200、石炭30、油類75、ニッケル原料110、輸入為替差▲180	75
	コスト改善等	0	合理化等	0
	子会社等	▲45	海外子会社等▲45	▲40
	在庫評価	▲125	25→▲100(内ステンレス35→▲60)	▲95
計		▲125		▲125
H27年度4-12月(実績)		45		▲80

(億円) (内ステンレス)

# 経常利益差異内訳

## H27年度7-9月(実績):H27年度10-12月(実績)



H27年度7-9月 (実績)		36	変動要因	▲ 20
変動要因	販売関連	▲ 55	価格差▲35、数量構成差▲20	▲ 20
	購買関連	40	鉄鉱石 10、石炭 5、油類 5、ニッケル原料 20	20
	コスト改善等	5	合理化等	5
	子会社等	▲ 10	海外子会社等▲10	▲ 10
	在庫評価	▲ 25	▲25→▲50 (内ステンレス ▲15→▲30)	▲ 15
計		▲ 45		▲ 20
H27年度10-12月 (実績)		▲ 9		▲ 40

# 貸借対照表 (H27年12月末)

(億円)

		対H27/3末		主な内訳
現預金	227	▲	35	
売上債権	783	▲	6	売上減少
たな卸資産	1,396	▲	45	
その他流動資産	204	▲	104	
有形・無形固定資産	2,832		54	
投資等	2,060	▲	63	株式含み益の減少 他
資産合計	7,505	▲	200	

有利子負債	2,837	▲	60	
その他の負債	2,050	▲	36	
負債合計	4,888	▲	97	
資本金・資本剰余金	1,063	▲	147	利益剰余金へ振替▲123、配当▲43
利益剰余金	847		106	資本剰余金から振替 123
自己株式	▲ 5	▲	0	
その他の包括利益累計額	638	▲	43	
非支配株主持分	72	▲	17	
純資産合計	2,616	▲	102	
負債・純資産合計	7,505	▲	200	



# 平成27年度業績予想

## 概況

- ✓ 国内需要は緩やかながらも回復基調にあり、在庫調整にも一定の進展が見られる。一方、中国の需給ギャップ拡大は構造的な問題であり、解決には相当の時間を要すると考えられる
- ✓ 需要分野の動向、鋼材在庫の水準、輸出環境の変化等を慎重に見極めながら、採算重視の生産・販売を徹底。売上高は5,490億円となる見通し
- ✓ 収益面では原料市況の下落が続いており、在庫評価損の拡大を織り込んだ結果、経常利益は65億円となるものの、これを除く実力ベースでは205億円と対前回公表プラスとなる見通し
- ✓ ステンレスもNi価格低迷の影響を勘案し、在庫評価損を▲80億円に拡大して織り込んだ結果、経常利益は▲105億円となるものの、実力ベースでは▲25億円と、前回公表からマイナス幅は縮小する見込み

# 平成27年度業績予想

(億円)

	No	H27年度			H27年度	H26年度
		上期(実績) a	下期(予想) b	(今回予想) c	(前回予想) d	(実績) e
売上高	1	2,767	2,723	5,490	5,610	6,175
営業利益	2	63	47	110	125	210
経常利益	普通鋼・特殊鋼	94	76	170	190	161
	ステンレス	▲ 40	▲ 65	▲ 105	▲ 95	35
	計	54	11	65	95	196
親会社株主に帰属する当期純利益	6	20	▲ 10	10	45	169

差異	
① c-d	② c-e
▲ 120	▲ 685
▲ 15	▲ 100
▲ 20	9
▲ 10	▲ 140
▲ 30	▲ 131
▲ 35	▲ 159

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 20	▲ 40	▲ 60	▲ 40	▲ 25
	ステンレス	8	▲ 30	▲ 50	▲ 80	▲ 45	25
	計	9	▲ 50	▲ 90	▲ 140	▲ 85	0

▲ 20	▲ 35
▲ 35	▲ 105
▲ 55	▲ 140

## <実カベース>

経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	114	116	230	230	186
	ステンレス	11	▲ 10	▲ 15	▲ 25	▲ 50	10
	計	12	104	101	205	180	196

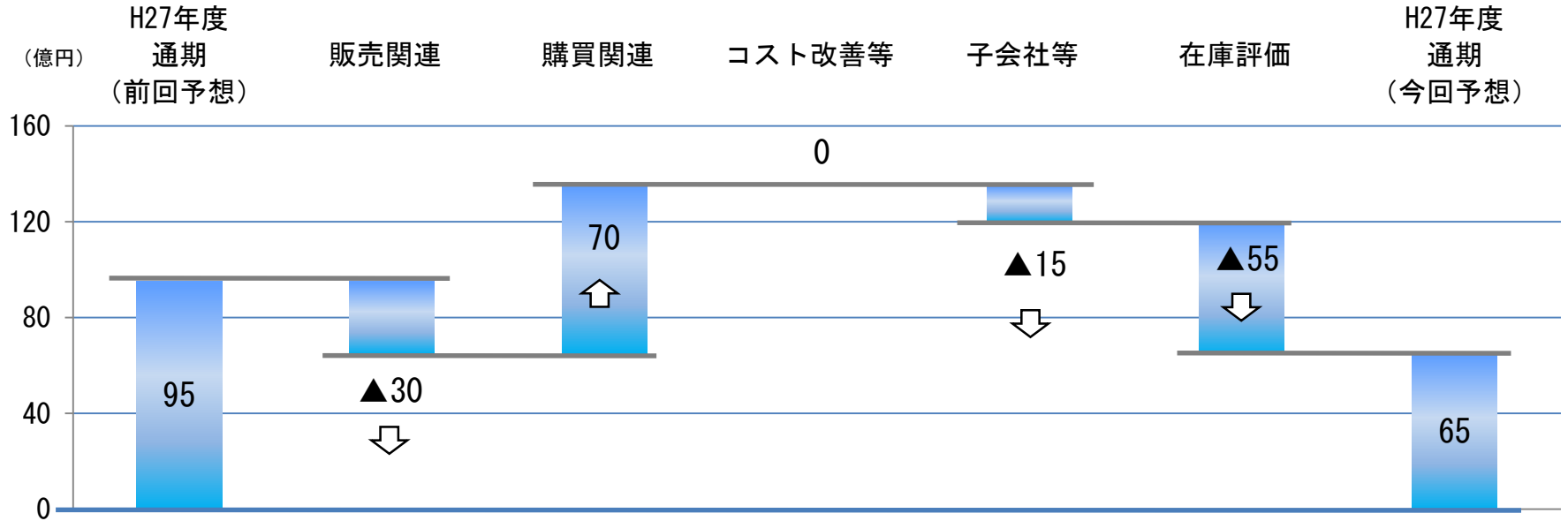
0	44
25	▲ 35
25	9

# 平成27年度業績予想諸元

		No	H27年度			H27年度	H26年度	差異	
			上期(実績) a	下期(予想) b	(今回予想) c	(前回予想) d	(実績) e	① c-d	② c-e
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	158	161	319	322	327	▲ 3	▲ 8
	ステンレス	2	34	32	66	66	71	0	▲ 5
	計	3	192	193	385	388	398	▲ 3	▲ 13
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	150	154	304	304	321	0	▲ 17
	ステンレス	5	25	28	53	53	60	0	▲ 7
	計	6	175	182	357	357	381	0	▲ 24
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	122	114	118	118	127	0	▲ 9
輸出比率 (金額ベース, %)		8	16	14	15	16	17	▲ 1	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)		9	122	121	121	121	109	0	12

# 経常利益差異内訳

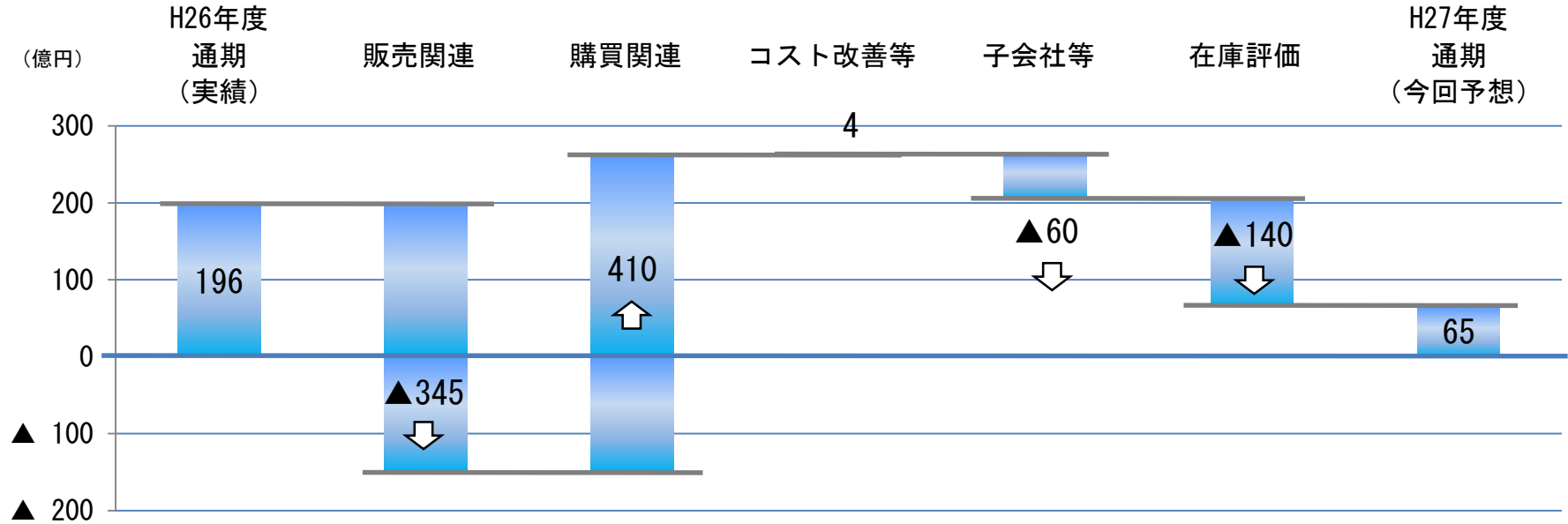
## H27年度通期(前回予想):H27年度通期(今回予想)



		(億円)	(内ステンレス)
H27年度通期 (前回予想)		95	▲ 95
変動要因	販売関連	▲ 30	0
	購買関連	70	40
	コスト改善等	0	0
	子会社等	▲ 15	▲ 15
	在庫評価	▲ 55	▲ 35
計		▲ 30	▲ 10
H27年度通期 (今回予想)		65	▲ 105

# 経常利益差異内訳

## H26年度通期(実績):H27年度通期(今回予想)



H26年度通期 (実績)		196	変動要因	35
変動要因	販売関連	▲ 345	価格差▲330、数量構成差▲75、輸出為替差 60	▲ 135
	購買関連	410	鉄鉱石 250、石炭 45、油類 105、ニッケル原料 185、 輸入為替差▲225	155
	コスト改善等	4	合理化等	0
	子会社等	▲ 60	海外子会社等▲60	▲ 55
	在庫評価	▲ 140	0→▲140 (内ステンレス 25→▲80)	▲ 105
計		▲ 131		▲ 140
H27年度通期 (今回予想)		65		▲ 105

# 剰余金の配当

期末配当については、1株当たり25.0円を実施予定  
 (年間では1株当たり40.0円の配当を実施予定)

(円/株)

	年間配当金				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計
H26年度	—	0.0	—	40.0	40.0
H27年度	—	15.0	—	25.0	40.0

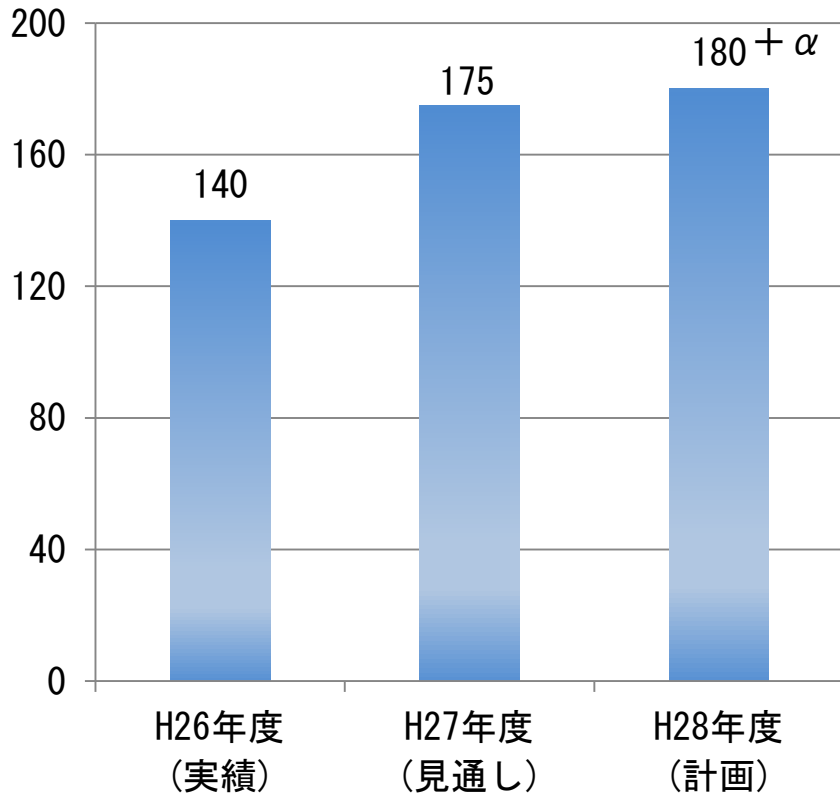
(ご参考)  
主要データ



# 合理化・総コスト削減とシナジー効果

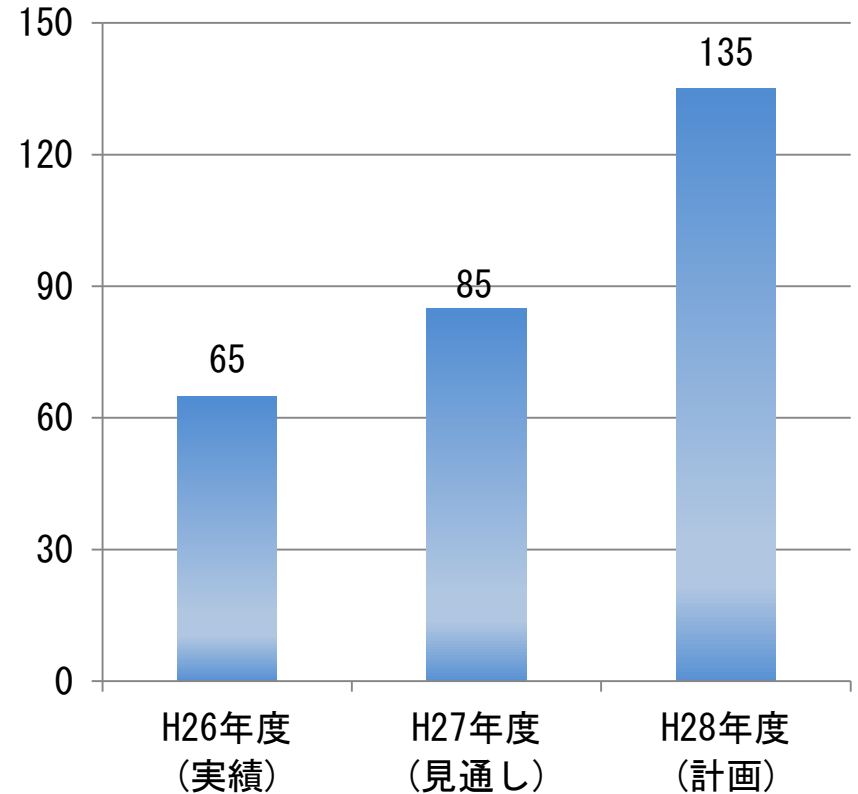
## 合理化・総コスト削減

(億円)



## シナジー効果

(億円)

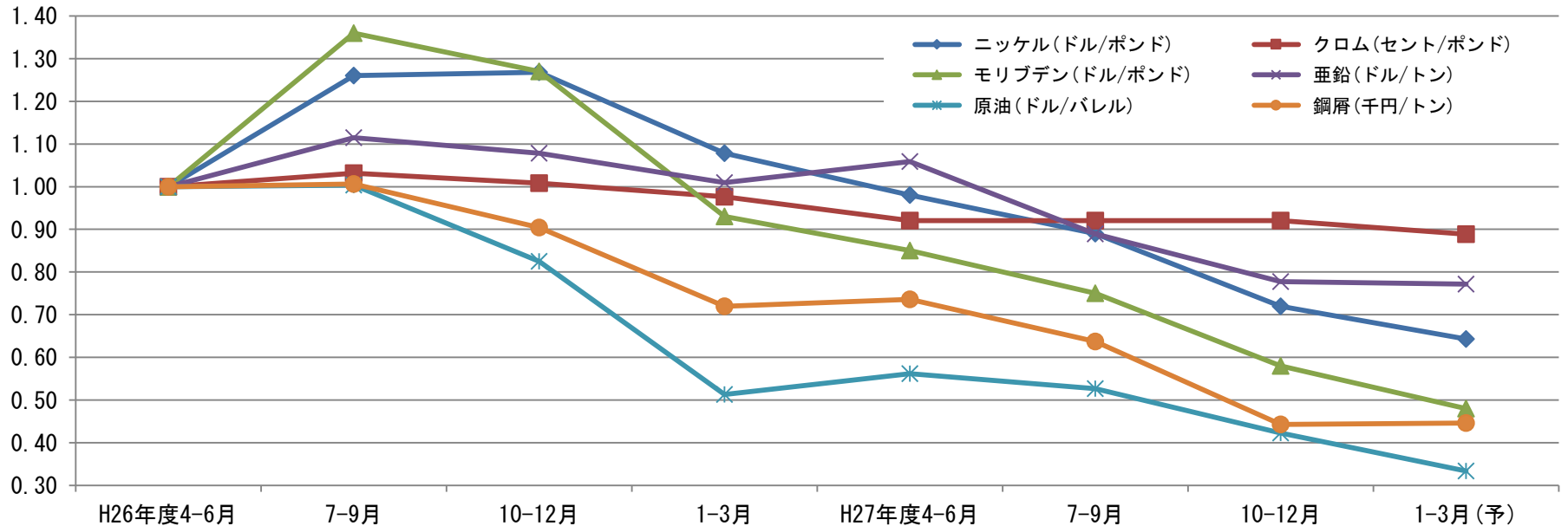




# 購買市況(適用ベース)

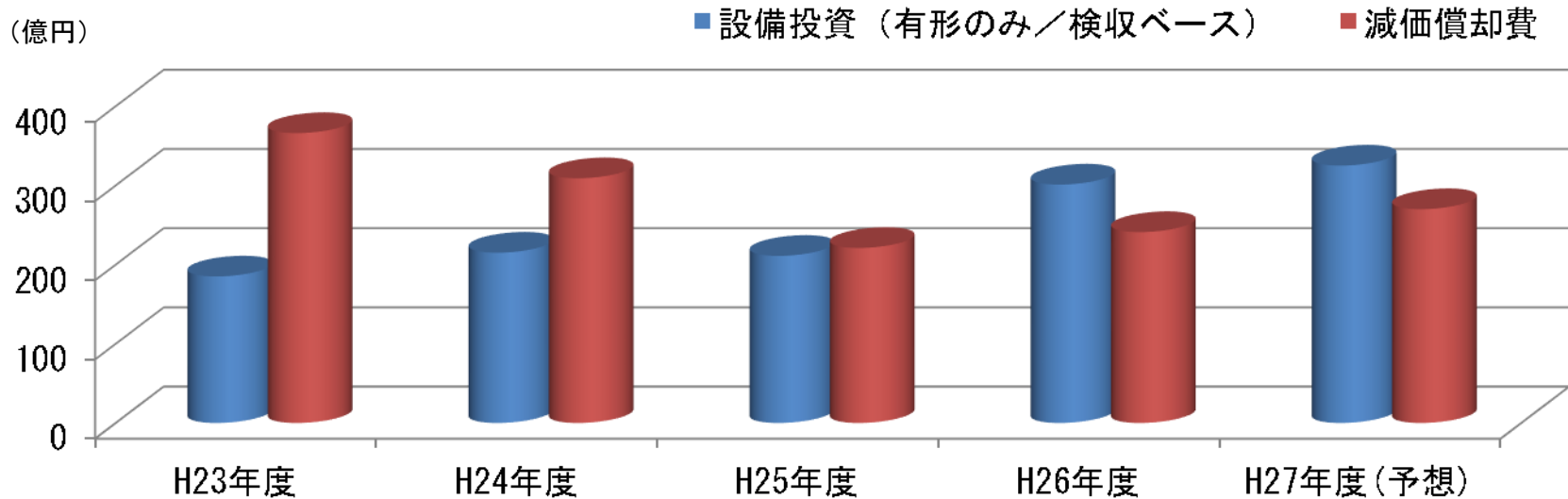
	H26年度							H27年度						
	上期			下期			平均	上期			下期			平均(予想)
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月(予想)	平均(予想)	
ニッケル(ドル/ポンド)	6.64	8.37	7.51	8.42	7.16	7.79	7.65	6.51	5.91	6.21	4.78	4.27	4.53	5.37
クロム(セント/ポンド)	126.0	130.0	128.0	127.0	123.0	125.0	126.5	116.0	116.0	116.0	116.0	112.0	114.0	115.0
モリブデン(ドル/ポンド)	10.0	13.6	11.8	12.7	9.3	11.0	11.4	8.5	7.5	8.0	5.8	4.8	5.3	6.7
亜鉛(ドル/トン)	2,073	2,311	2,192	2,235	2,092	2,164	2,178	2,195	1,844	2,020	1,611	1,600	1,606	1,813
原油(ドル/バレル)	104.9	105.3	105.1	86.5	53.8	70.1	87.6	58.9	55.2	57.1	44.3	35.0	39.7	48.4
鋼屑(千円/トン)	31.4	31.6	31.5	28.4	22.6	25.5	28.5	23.1	20.0	21.6	13.9	14.0	14.0	17.8

購買市況の推移 (H26年度4-6月を1.00)



# 設備投資・減価償却費

※H23年度は旧日新製鋼連結

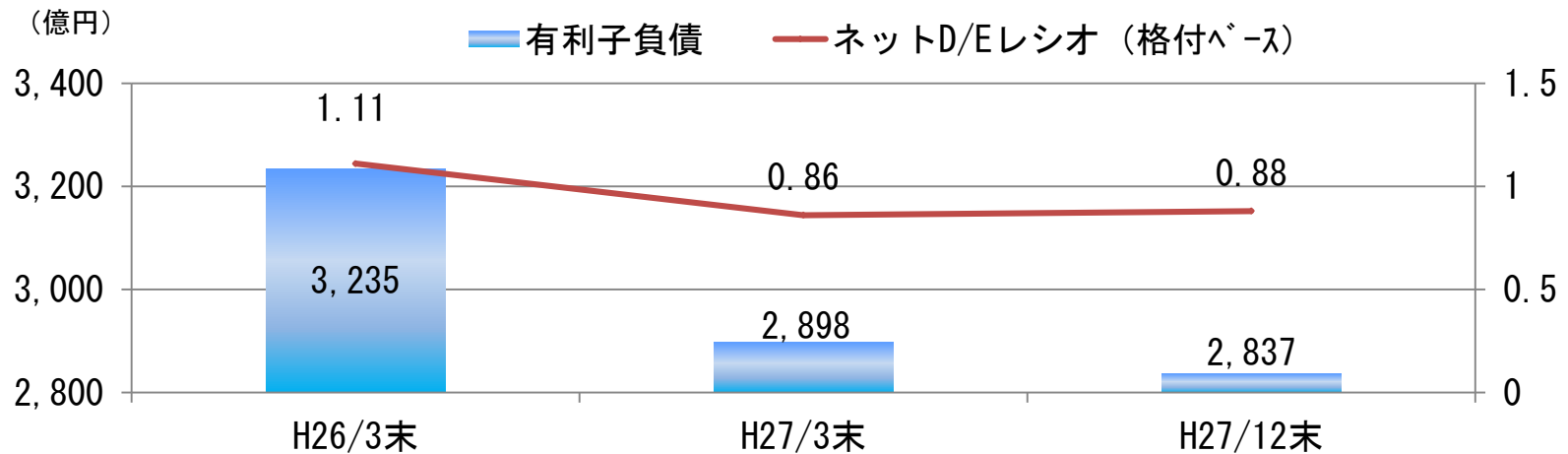


(億円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (予想)
設備投資	185	215	211	301	325
減価償却費	366	309	221	241	265

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

# 有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H26/3末	H27/3末	H27/12末
手許預金 (億円)	408	263	227
有利子負債 (億円)	3,235	2,898	2,837
ネットD/Eレシオ	1.36	1.00	1.03
〃 (格付けベース) ※	1.11	0.86	0.88

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券/ハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ  
 (H26/3末は500億円の50%、H27/3末およびH27/12末は400億円の50%を、それぞれ資本に算入)